

stereotypical

西山美なコ | 川内理香子

Minako Nishiyama : Rikako Kawauchi

主催: 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会

企画: 大川内祐太、中村朱里、富田結衣、友尻小麦、リ・ブンキ

監修: 吉岡恵美子(京都精華大学芸術学部准教授)

協力: Gallery PARC

2016年1月26日[火]~2月7日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



Minako Nishiyama



Rikako Kawauchi



stereotypical

西山美なコ | 川内理香子

Minako Nishiyama : Rikako Kawauchi

主催: 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会

企画: 大川内祐太、中村朱里、富田結衣、友尻小麦、リ・ブンキ

監修: 吉岡恵美子(京都精華大学芸術学部准教授)

協力: Gallery PARC

2016年1月26日[火]～2月7日[日] 11:00～19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像01】 西山美なコ / Minako Nishiyama

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2016年1月26日(火)から2月7日(日)まで、京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会の主催による「stereotypical」展を開催いたします。本展はGallery PARCの会場提供による大学協力展として開催されるもので、京都精華大学「現代アートプロジェクト演習4」(キュレーションの実践を行う授業)の受講生が企画し運営するものです。

本展は、京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了後、「Pink Vacancy」(2004、資生堂ギャラリー・東京)、「～いろいき～」(2007、京都芸術センター)、「広瀬光治と西山美なコのニットカフェ・イン・マイルーム」(2009、金沢21世紀美術館)、「瀬戸内国際芸術祭2013」(香川)、「六甲ミーツ・アート芸術散歩2014」(兵庫)などで活躍を続ける西山美なコ(にしやま みなこ)と、多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻油画在籍中ながら、「other painting XI」(2012、pepper's gallery)、「凸」(2013、TKPシアター 柏、アートラインかしの2013)、川内理香子個展「Back is confidential space.Behind=Elevator(2015、waitingroom)などの展覧会での発表とともに、2014年に「第1回 CAF ART AWARD 2014」(保坂健二郎賞)、2015年には「第9回shiseido art egg賞」を受賞するなど、活躍の目覚ましい川内理香子(かわうちりかこ)により構成されます。

西山はピンクを基調とした装飾モチーフや砂糖菓子などを用いた彫刻、インスタレーション作品などを発表してきた。表面に表れる繊細さや女性らしさにこだわる一方で、内に秘める存在そのものの魅力を感じさせるような作品を制作する。川内は「たべること」に対する自身の感覚と周囲とのズレをテーマにしたドローイングなど、「生」に対する実感が反映された平面作品を主に制作する。表現方法は異なりながら、自らを問い、見る者へも問いかけるという点でリンクする二人の作品を通して、本展では、表面的な思い込みや一般的な価値観の奥に漂う物事の本質や魅力に気付く場にした。 (主催者によるテキスト)

関西のみならず全国的に活動する西山美なコ、関西ではほぼ初めての紹介となる川内理香子。会場では、このふたりの女性作家の作品を通して、自身に内在する価値観を見つめなおす機会として、また、そこからは自身が世界に向けた眼差しに変化と気付きをもたらす機会ともなるのではないのでしょうか。

なお、関連イベントとして、2月7日(日)にはアーティストトークを開催します。こちらにもぜひご参加ください。

stereotypical

西山美なコ | 川内理香子

Minako Nishiyama : Rikako Kawauchi

主催: 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会

企画: 大川内祐太、中村朱里、富田結衣、友尻小麦、リ・ブンキ

監修: 吉岡恵美子(京都精華大学芸術学部准教授)

協力: Gallery PARC

2016年1月26日[火]～2月7日[日] 11:00～19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像03】 川内理香子

Dermatograph, pencil, watercolor on paper

515×363mm 2015

【広報画像02】 川内理香子

「you can't touch me」

Pencil, watercolor on paper

333×242 2015

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[【info@galleryparc.com】](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 stereotypical

出展作家 西山美なコ、川内理香子

会期 2016年1月26日[火] — 2月7日[日] 11:00～19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

料金 無料

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【関連イベント】 「アーティストトーク」 2016年2月7日[日] 16:00～17:00・参加無料

主催 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会
<https://www.facebook.com/seika.stereotypical/>

企画 大川内祐太、中村朱里、富田結衣、友尻小麦、リ・ブンキ

監修 吉岡恵美子(京都精華大学芸術学部准教授)

協力 Gallery PARC

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

お問い合わせ Gallery PARC (正木・永尾) 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマーブル]2F

【Tel&Fax】075-231-0706

【Mail】info@galleryparc.com

stereotypical

西山美なコ | 川内理香子

Minako Nishiyama : Rikako Kawauchi

主催: 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会

企画: 大川内祐太、中村朱里、富田結衣、友尻小麦、リ・ブンキ

監修: 吉岡恵美子(京都精華大学芸術学部准教授)

協力: Gallery PARC

2016年1月26日[火]～2月7日[日] 11:00～19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

本展ではふたりの女性作家 西山美なコ、川内理香子の作品を紹介する。西山はピンクを基調とした装飾モチーフや砂糖菓子などを用いた彫刻、インスタレーション作品などを発表してきた。表面に表れる繊細さや女性らしさにこだわる一方で、内に秘める存在そのものの魅力を感じさせるような作品を制作する。川内は「たべること」に対する自身の感覚と周囲とのズレをテーマにしたドローイングなど、「生」に対する実感が反映された平面作品を主に制作する。

表現方法は異なりながら、自らを問い、見る者へも問いかけるという点でリンクする二人の作品を通して、本展では、表面的な思い込みや一般的な価値観の奥に漂う物事の本質や魅力に気付く場にした。

本展は、キュレーションを学ぶ京都精華大学の授業「現代アートプロジェクト演習4」の受講生が企画し運営するものです。

【作家プロフィール】

西山美なコ(にしやま みなこ)

1965年生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。主な展覧会は「Pink Vacancy」(2004、資生堂ギャラリー、東京)、「～いろいろいき～」(2007、京都芸術センター)、「美麗新世界: 当代日本視覚文化」(2007、Long March Space/北京、広東美術館/広州)、「広瀬光治と西山美なコのニットカフェ・イン・マイルーム」(2009、金沢21世紀美術館)、「瀬戸内国際芸術祭2013」(香川)、「六甲ミーツ・アート芸術散歩2014」(兵庫)など。



N01



N02



N03

画像N01～N03までいずれも西山美なコ

【作家プロフィール】

川内理香子(かわうち りかこ)

1990年生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻油画在籍中。第1回 CAF ART AWARD 2014 保坂健二朗賞(2014)、第9回shiseido art egg賞(2015)受賞。主な展覧会は「other painting XI」(2012、pepper's gallery)、「凸」(2013、TKPシアター 柏、アートラインかしわ2013)、「コレクターとアーティスト: 川内理香子」(2015、T-Art gallery)、川内理香子個展「Back is confidential space. Behind=Elevator」(2015、waitingroom)など。



K01



K02



K03

「Go down the throat」(2015、資生堂ギャラリー/東京)会場風景

K02

「Liar」

tube wire 1830×100mm 2015

K03

neon light w512 ×d240×h1800mm 2015

「Do geese see god?」

いずれも川内理香子